

マツグミ

Taxillus kaempferi (DC.) Danser
オオバヤドリギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

マツ枯れが進行して生育環境が失われ、絶滅の危機にさらされている。

分 布

本州（関東地方、富山県以西）～九州に分布。県内では若狭町、敦賀市、越前町、福井市、勝山市、大野市での記録がある。

種の特徴

アカマツ、クロマツ、モミ、ツガ等のマツ科針葉樹に寄生する長さ20～50cmの常緑低木。葉は倒披針形で密につき、全縁で革質。7～8月、葉腋から短い集散花序を出し、数個の赤色の花をつける。花被は円筒状形で長さ1.5cm。果実は翌年3～5月に赤熟する。

生育を脅かす要因

マツ枯れによる宿主植物の枯死、遷移進行、森林伐採。

参考文献 福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○	○								○	○	○

オオバヤドリギ

Taxillus yadoriki (Siebold ex Maxim.) Danser
オオバヤドリギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

分布が偏在し、生育地は少ない。沿岸部の常緑広葉樹林の伐採等により減少傾向にある。

分 布

本州（関東地方南部以南）～琉球に分布。県内では小浜市、若狭町、美浜町、敦賀市での記録がある。

種の特徴

主に沿岸部の常緑広葉樹に寄生する常緑低木。茎はややつる性で長さ80～100cmになる。若い枝には褐色の毛が密生する。葉は、広楕円形で革質、裏面には赤褐色の星状毛が密生する。9～12月、葉腋に筒状で赤褐色の花が数個つく。果実は広楕円形で赤熟する。

生育を脅かす要因

森林伐採。

参考文献 福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○	○	○											

ホンバイヌタデ

Persicaria erectominor (Makino) Nakai var. *trigonocarpa* (Makino) H.Hara
タデ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

生育地の生育条件の悪化により急激に減少している。

分 布

北海道～本州に分布する。県内では高浜町、あわら市、坂井市、福井市で確認されている。

種の特徴

水辺に生える一年生草本。高さ30～50cmになる。葉は線形～披針形で、表面に短毛があり、裏面には腺点がある。托葉鞘は膜質で、縁毛がある。

生育を脅かす要因

湿地の開発、護岸工事、自然遷移の進行等が生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）、福井県植物研究会（1998）、土屋和三（2006）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○								○		○				○